

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 情報を整理・分析し、判断する基準を明確にして、思考・判断・表現することができる。

思考力、判断力、表現力の育成

- ◇ 学年 第5学年
- ◇ 単元名 収穫を祝おう
- ◇ 単元の目標 米の収穫を喜び、その喜びを伝える活動を人と関わり合いながら計画・実行することを通して、米作りで学んだことの中で大切にしたいことを考え、それを表現する。
- ◇ 単元の計画 (全10時間)

学習活動	学習活動
<p><b>1 課題の設定 (2)</b></p> <p>・収穫した米を数えて、収穫を祝うために何ができるか考える。</p>	<p><b>3 整理・分析 (2)</b></p> <p>・収穫の喜びや感謝・これまでの学びが表現できるように考えて、準備をする。</p>
<p><b>2 情報の収集・整理分析 (2)</b></p> <p>・大切にしたいことは何かを考えて具体的な計画を立てる。</p> <p style="text-align: right;">本時</p>	<p><b>4 まとめ・表現 (4)</b></p> <p>・収穫を祝う会をする。 ・活動を振り返る。</p>

- ◇ 本時の目標 アイディアをまとめた表を活用して価値付けしながら話し合い、収穫した米をどうするかという方法を考える。
- ◇ 学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)																														
1 前時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 収穫した米を誰に食べてもらうかで意見が分かれたことを確認する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習をして食べる。</li> <li>・とんどに参加してふるまう。</li> <li>・お世話になった方をお招きして食べてもらう。</li> <li>・工夫して自分たちで食べる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>目的に応じた思考ツールを活用して考えさせましょう。</p> <p>★項目を自分たちで考え、○×を付けさせることで、判断する基準を明確にして思考させることができます。</p> <p>・大切にしたい項目に基づいて、収穫した米をどうするか考えている。 〔課題を解決する力〕(表・行動観察)</p>																														
2 本時の目標を確認する。	大切にしたいことは何かを考えながら、お米をどうするか話し合おう																															
<p>3 くらべっこ表を使って、アイディアを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大切にしたいことをグループで考えて表の項目を作る。</li> <li>○出されたアイディアについて、くらべっこ表に○×をつけていく。</li> </ul> <p>とんどでふるまったらたくさんの人に食べてもらえるけど、お米が足りないね。</p> <p>自分たちでできるかな？</p> <p>お世話になった人に感謝の気持ちを伝えたいよ。</p>	<p>◆考えが出にくい児童や班には、前時に出されたアイディアの根拠を想起させ、大切にしたいことに気付かせる。</p> <p style="text-align: center;">〈くらべっこ表〉</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>大切にしたい項目 アイディア</th> <th>みんなが喜ぶ</th> <th>感謝が伝わる</th> <th>お米が足りる</th> <th>実現可能</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理実習</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とんどに...</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>お世話になった...</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分たちで...</td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		大切にしたい項目 アイディア	みんなが喜ぶ	感謝が伝わる	お米が足りる	実現可能	...	調理実習	×	×	○	○		とんどに...	○	○	×	○		お世話になった...	○	○	○			自分たちで...	×	×			
大切にしたい項目 アイディア	みんなが喜ぶ		感謝が伝わる	お米が足りる	実現可能	...																										
調理実習	×	×	○	○																												
とんどに...	○	○	×	○																												
お世話になった...	○	○	○																													
自分たちで...	×	×																														
4 振り返りをする。	「大切にしたいことを考えながら話し合えたか。」という視点で振り返らせる。																															

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 情報を整理・分析し、価値基準を明確にして、思考・判断・表現することができる。

思考力、判断力、表現力の育成

- ◇ 学年 第1学年
- ◇ 単元名 ふさととの再発見
- ◇ 単元の目標 地域の自然や文化とそこにかかわる人々とのかかわりを探究する学習を通して、地域の魅力や地域の人々の思いや願いを学び、自己の生き方を考えることができるようにする。
- ◇ 単元の計画 (全32時間)

学習活動	学習活動
<p><b>1 課題の設定 (8)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校時代の地域学習を振り返り、地域の良さや課題をまとめる。</li> <li>・ 地域の方から地域に対する思いを聞き、自分たちとの相違点を明確にする。</li> <li>・ 地域の魅力を再発見するための課題を設定する。</li> </ul> <p><b>2 情報の収集 (6)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査活動を行う</li> </ul>	<p><b>3 整理・分析 (9)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査結果をまとめ、「地域の魅力を伝える新聞」を作成し中間発表をする。</li> </ul> <p><b>4 まとめ・表現 (9)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間発表の内容を見直し、改善する。</li> <li>・ 最終発表をする。</li> <li>・ 活動を振り返る</li> </ul> <p style="text-align: right;">本時</p>

- ◇ 本時の目標 中間発表で出た質問や意見に対して、各自で改善策を考え、分かりやすく伝える。
- ◇ 学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 [観点] (評価方法)
<p>1 本時のねらいと学習の流れを確認する。</p> <p>○ 中間発表で出た質問や意見を受けて改善策を考えよう。 ○ 自分の考えを、聞く人に分かりやすく伝えよう。</p>	<p>◇ 探究の過程のどこを学習しているか確認させる。</p>	
<p>2 本時の活動の見通しをもつ</p> <p>3 改善策を考える。</p> <p>○ 各自が考えた改善策を付箋紙に記入する。</p> <p>○ 意見を交流してまとめる。</p> <p>実験結果は、表でまとめた方が視覚的にわかりやすいよ。</p> <p>お年寄りも見るので表は大きく入れたいね。この記事の位置を変えよう。</p>	<p>◇前時の中間発表で、指摘を受けた点を確認し、「地域の魅力がもっと伝わる新聞にしたい」という意欲をもたせる。</p> <p>◆ 改善策が思いつかない生徒には、誰にどう目的で見てもらう新聞かを再確認させる。 (例)「天上の明水のことをたくさんの人に知ってもらい、有名にしたい」</p>	<p>目的に応じた思考ツールを活用して考えさせましょう。</p> <p>★指摘を受けた点を項目にし、KJ法で整理させることにより、各自のもつアイデアが類型化して表せます。</p>
<p>4 まとめた意見を発表する。</p> <p>5 振り返りをする。</p>	<p>◇地域の魅力を伝えるという視点で交流させる。</p> <p>◇「より地域の魅力が伝えられる改善策が考えられたか。」「自分の考えを聞く人に分かりやすく伝えられたか。」という視点で振り返らせる。</p>	<p>・改善策を考え、聞く人に分かりやすく伝えている。[学習方法] (付箋・行動観察)</p>





設定した言語活動を通して育てたい力

○ 相手を意識しながら、必要な情報を的確に聞き取ることができる。

思考力、判断力、表現力の育成

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 単元名 地域探究
- ◇ 単元の目標 フィールド調査やアンケート調査を取り入れた探究的な学習を通して、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、他者と協同して問題の解決に取り組む態度を養う。
- ◇ 単元の計画 (全18時間)

学習活動	学習活動
<p><b>1 研究テーマの設定 (2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化、歴史、医療、福祉、農業、工業、商業などの学習テーマの中から、興味・関心に応じて一つのテーマを選び、共に研究するグループを編成する。</li> <li>・グループでの協議により、研究課題を設定する。 例：「中通り商店街を活性化しよう。」</li> </ul>	<p><b>3 情報の整理・分析と考察 (5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の整理・分析を行い、課題解決に向けての方策についてグループで考察する。 例：「中通り商店街を活性化するために、高校生としてできることは何か。」</li> </ul>
<p><b>2 情報の収集 (6)</b></p> <p style="text-align: right;">本時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題を踏まえて情報を収集する。 例：商店街でフィールド調査を行い、商店街が抱えている課題を把握する。 アンケート調査を行い、商店街を訪れる消費者の意識を把握する。</li> </ul>	<p><b>4 まとめ・表現 (5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考察の結果をまとめ、発表する。 例：商工会議所を訪問し、考察の結果をもとに「中通り商店街を活性化するために、高校生としてできること。」を提案する。発表後に受けた助言を参考として、研究の成果と課題をまとめる。 校内の研究発表会で発表する。</li> </ul>

- ◇ 本時の目標 相手を意識しながら、必要な情報を的確に聞き取ることができる。
- ◇ 学習の流れ (4時間目/全18時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>◇フィールド調査班とアンケート調査班とに分かれ、それぞれの班で前時に作成した調査計画書の内容を確認させる。</p> <p>相手を意識しながら、必要な情報を的確に聞き取ろう！</p>	<p>他の班の生徒を商店主や客に見立てて、模擬聞き取りを行わせましょう。</p> <p>★模擬聞き取りを行うことで、改善すべき点が明確になります。</p> <p>・相手を意識しながら、必要な情報を的確に聞き取っている。〔情報収集の力〕(発表内容、行動観察)</p>
<p>3 各班が行う聞き取りの内容について、相互評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ フィールド調査班の生徒が、アンケート調査班の生徒を商店主に見立てて模擬聞き取りを行う。</li> <li>○ 気付きを発表する。</li> <li>○ アンケート調査班の生徒が、フィールド調査班の生徒を客に見立てて模擬聞き取りを行う。</li> <li>○ 気付きを発表する。</li> </ul>	<p>◇「調査を行う相手を意識した聞き取りになっているか」という観点で模擬聞き取りの様子を詳しく観察し、気付いたことをメモするように指示する。</p> <p>【予想される気付きの項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の選択。</li> <li>・聞き取り項目の重複。</li> <li>・話す速度、声の大きさや間の取り方。</li> <li>・言葉遣いの丁寧さ。</li> <li>など</li> </ul> <p>◆気付きを書くことができない生徒が複数いるようであれば、模擬聞き取りを中断させ、教師の気付きを一つ紹介する。</p>	
<p>4 振り返りと次時に向けての指示を聞く。</p>	<p>◇本時の学習内容を踏まえ、何をどのように改善するかを次時まで考えておくように指示する。</p>	